

全社員が活躍できるように職場環境を整備 従業員の仕事と生活の両立を図り地域とともに成長

同社は、1968年乾燥椎茸の進物用木箱の製造メーカーとして設立。1972年に包装資材の販売を開始して以来、現在では、包装資材のストックと供給を行う商社としての機能と、商品ラベルやシール、パッケージの企画・デザインから製造までを手掛ける印刷メーカーとしての機能を併せ持つ、総合パッケージカンパニーとなった。「お客様の業績向上に貢献する」ことを経営理念に、包装資材やパッケージ等にとどまらず、通販支援、商品開発、HACCP取得支援、人材確保、補助金コンサルティングなど、取引先のさまざまな課題解決をサポートしている。

所在地 福岡県久留米市山崎市ノ上町7-20
電話/FAX 0942-43-6621/0942-43-6855
URL <https://www.maru-sin.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 平木 洋二

設立 1968年
資本金 4,500万円
従業員数 450人



一人でも多くの社員をスターに。若手を積極的に重要ポストへ抜擢

人材育成の基本方針として、「一人でも多くの社員をスターに」という目標を掲げている。そのための活動の一つに、若手社員が中心となってチームを組み、社内の課題解決を話し合う社内委員会を設立。社内委員会での決定は、社長の決裁と同じ権限があり、社員の自らの仕事に対して誇りと責任につながっている。また社内委員会では、早いうちから経営に参画し、「自分の会社」という気持ちを持ってもらいたいという思いから積極的に若手社員を委員長に抜擢している。



世界ラベルコンテストで最高位を受賞

社員が講師を務める社内外セミナー。資格取得制度や気づき提案制度も導入

同社では、食品、酒類、茶業、健康食品、化粧品などさまざまな業界の知識を身につけることを目的に、社員自身が講師となって、業界ごとの最新動向や基本構造などについて学ぶ社内向け勉強会を実施している。さらには、20以上の資格を対象に、受験料や教材費、お祝金の支給を行う資格取得制度を導入し、社員のスキル向上を促している。また、すべての従業員を対象に、現場の声を全社的にシェアする「気づき・提案制度」を導入することで、働く環境や業務の改善にも積極的に取り組んでいる。



新入社員研修の様子

企業主導型保育園の開設で仕事と子育てを両立できる職場環境を実現

2018年11月に企業主導型保育園「丸信インターナショナル保育園」を開設。定員の50%以上を従業員の子供枠とし、就業時間に合わせて自由に保育時間の設定ができるようにすることで、社員は子供と一緒に出勤し、一緒に退社できるようになった。同保育園は、病児保育に対応しており、子供の病気により欠勤すると収入が減るパート社員などに利用してもらうことで、可能な限り収入を落とさずに働き続けられる環境を実現した。また、地域の子供達も受け入れることで、地域貢献にも寄与している。



丸信インターナショナル保育園